

作品 No.120



生きものの“つぶやき”:

**「我ら、海遊警告隊。」**

エッセイ:

ここは北海道内で唯一の海中国定公園。通称“シャコタンブルー”と呼ばれる、澄み渡る青い海がどこまでも広がっている。

今日も快晴の青空の中、出航する汽笛の音が俺たちウミネコの耳にも聞こえてくる。

「よし、今日も行きますか！」

‘ やつらは船のまわりを飛んでいけば、漁のおぼれをもらって食料を確保できる。だから船についてきている。 ‘

…なんて人間は思っているのかもしれないが、実はそうではない。

俺たちは、人間に伝えているんだ。

「海はゴミ箱じゃない。海を汚すな。」

そう警告するために船についていくのだ。

いつか俺たちが船についていわずに済む日が来ることを願いながら、今日も俺たちウミネコは積丹の美しい海の上を飛ぶ。(302字)

### 生きものの紹介：

ウミネコ(成鳥、幼鳥)：日本で最も多く見られる中型カモメの「ウミネコ」。海で多く見られると思いがちなカモメは、渡り鳥のため、実はその多くがウミネコかもしれません。ウミネコは、カモメと似た体色をしています。背部と翼表面の灰褐色がカモメより濃く、尾羽に黒い帯模様があります。鳴き声が「ミャーミャー」とネコに似ていることが名前の由来で、漢字では「海猫」と書きます。

1番右の羽色が黒っぽい個体は、おそらく今年生まれの幼鳥だと思います。左上を飛ぶグレーから白に変わりかけている個体は、その兄弟かもしれません。脚がグレーなので2年目のように見えます。そうすると、真ん中を飛んでいる眼光鋭い成鳥は、親かもしれません。羽色によって、推測できるのが興味深いです。

### 撮影場所・日時：

北海道積丹町美国町・2020年8月9日午前9時頃

### 応募者の自己紹介：

1. 湯村晃尚美／藤女子中学高等学校2年
2. 所属：生物・科学部
3. 将来の夢：獣医師

### 審査委員会からのコメント

3羽のウミネコの動きをいいアングルでタイミングよく捉えられています。エッセイの視点も素晴らしい。